

ケニア、ルワンダでのインターンを終えて

近畿大学 理工学部 社会環境工学科3年 赤木 悟

1. はじめに
2. 経緯
3. ケニアでの活動について
4. 自転車旅とルワンダ
5. さいごに

1. はじめに

この度は学生ボランティアの募集を行っていない期間にも関わらず、受け入れて頂き有り難うございました。多くのプロジェクトに関わらせて頂き、現場にも度々足を運ぶことができ、とても貴重な経験となりました。今回はそのCOREの活動を通して得られた情報を少しでも発信できればと思い、この活動報告を書きます。

2. 経緯

将来は海外で貧困削減につながるようなインフラ整備、特に地方道の整備などができる仕事をしたいと思っていて、インフラ整備系のNGOを探したりしていました。道ができれば人やモノの流れもでき、様々な知識や情報も伝達され、現状が変わるキッカケになると思うからです。そして、当団体をインターネットで見つけ、道を整備するだけでなく、雇用創出にもつなげてることを知って、その活動をもっと知りたいと思いインターンを申し込みました。

3. ケニアでの活動について(2月9日～3月9日)

- ・マクエニ郡において土のうによる農道の道直し
- ・ナロック郡において小学校をメインとした植林活動

まず、マクエニ郡では農民グループ25人と阪神高速(株)の社員さん5名と8日間で87mの道を整備しました。マクエニ郡は日差しがとても強く半乾燥地なのですが、緑は思ったよりも多く、乾季の大地はスコップでは全く歯が立たない硬さでした。草木を刈る作業、土を掘る作業、土のうに土を詰めたり圧縮したりする作業などがあり、いずれの作業も想像以上に大変でした。一番印象に残っているのは、現地の人たちは日本人のように仕事に対して真面目だけど、みんなが家族のように仲良く話し合いながら笑って歌って、仕事を楽しんでいたということです。良い意味で仕事には集中し過ぎないというか、しんどくなるようなペースでは働かないという働き方がとても良かったです。一緒に道を直していて、とても楽しかったです。



鋤を使って道を平らにする作業

次に、ナロック郡のマサイーマウ森林地域では小学校や農家をまわって樹種の配布、貯水タンクやフェンスの提供、環境教育などの植林活動を行いました。かつては木々が多くあったのですが、牧草地や農地の開拓のために森林破壊が行われ、収穫あとの畑が一面に広がり緑が一切ない光景なども広がっていました。小学校では2, 3か月間水が一切無いというところも複数あり、植林を行うためにも雨期の雨水を確保する貯水タンクなどの必要性を感じました。植林が成功し、森林が再生すれば水の確保や農業にも貢献でき、木からは直接的な収入も得られるため高学年の生徒たちも真剣に話を聞いていました。自分と同世代の若者グループも真剣な表情で将来のために木を植えたいと言っていて、感心させられることばかりでした。

ちなみに、次のページの写真のタンクは以前から使われているもので、屋根の雨どいから水を集めて、飲料水・手洗い・トイレ・苗の水やりなどに使われています。雨期にはタンク一杯に水が溜まるのですが生徒、教師含め170人で大体2か月で使い切ってしまうそうです。乾季は4, 5か月続くそうなのであと2つは同じサイズのタンクが欲しいところです。



CORE専門家スタッフによる環境教育



写真中央の建物が小学校の校舎、周囲は牧草地



校長先生と1万リットルのタンク2つ

その他にも、ケニアでは植林に関する新プロジェクトの立案・情報収集なども行いました。プロジェクトの様々な段階に関わることができて、良い勉強になりました。ケニアでは、仕事の効率性より、人の気持ちとかの方を大事にしていると感じました。僕はその働き方がとても好きだし、また一緒に働きたいです。

4. 自転車旅とルワンダ

ケニアでのインターンが終わった後、ケニアのナイロビからルワンダのキガリまで自転車で移動しました。坂が多く、日差しが強いなど体力的にはきつかったですが、出会う人がみんな優しくとても幸せな旅でした。長い坂を上っているとバイクの兄ちゃんが自転車ごと乗っけてくれたり、もうすぐで暗くなりそうなときに警官がトラックをヒッチハイクして隣町まで送ってくれたり、毎日どこかでホームステイさせてもらってご飯をご馳走になったり、数え切れないくらい支えてもらいました。

そして、一番驚いたことはやはりルワンダの首都キガリの小さなレストランでケニア事務所のスタッフと再会したことです。こんな奇跡が起こるなんて思ってもいませんでした。二人とも嬉しすぎて1時間近くニヤニヤしながら喋って、ご飯を食べてました。そして、次の日からルワンダ事務所でインターンを1週間ほどしました。ワークショップに使うプレゼンの準備を少し手伝っただけなのですが、楽しい1週間でした。ルワンダのスタッフも本当に良い人で、もっと一緒に働きたかったです。ルワンダにも未舗装のでこぼこ道がたくさんあるので、これからのルワンダ事務所の活躍も楽しみです。



ルワンダ事務所にて

5. さいごに

ケニアでは、大学を卒業したけど働き口がない、高校も出てないから仕事がないと言っている同世代の若者と多く会いました。どんな仕事でもいいし、1日100円でもいいから仕事が欲しいと言っている人もいました。土のうテクノロジーという簡単な方法で誰にでも雇用の機会を与えられるというのは本当に素晴らしいし、雇用創出の可能性をもっと掘り下げたいなと思いました。また、いつかケニアやルワンダに戻って働きたい気持ちでいっぱいです。

今回のインターンは本当に良い経験となりました。お忙しい中インターンを受け入れてくださった岩村さん、中島さん、土のう研修に参加させて頂きました阪神高速(株)の皆さまに心から感謝申し上げます。